



2010-2011

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2710

2011年5月号

VOL. 11



帝釈峡「神龍湖の湖水開き」／庄原市東城町

特集／地区内インター・シティ・ミーティング

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
革新的なクラブ活動を展開しよう!	3
会長エレクト研修セミナー&地区委員会別引継会議の報告	4
インターアクトクラブ海外研修を終えて	5
特集 インター・シティ・ミーティング開催報告	6
会員増減・出席率	16
第2710地区グループ紹介	18
新会員紹介等	18

地区ホームページ (HP) をご覧ください <http://ri2710.com/>



ロータリーの絆をもとう

～あくなき情熱と冷静で～

国際ロータリー第2710地区

ガバナー 前田 茂





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS／地域を育み、大陸をつなぐ



ガバナーメッセージ

ガバナー 前田 茂

I.Mを終えて

公式訪問は、12月21日、G12の吉舎ロータリークラブを最後に終わりましたが、ほっとする間もなくI.Mの寄稿や準備が始まりました。

2011年2月5日のG4小野眞嗣ガバナー補佐のリーダーシップのもと、地区内トップをきってI.Mが開催されました。このI.Mは近隣のロータリークラブが一堂に会し、ロータリーの情報を交換し研修して理解を深めること、会員同士の親睦を通して奉仕の精神を確認することにあります。

今年度、各々のグループでガバナー補佐を中心に企画されテーマを決めて、いろいろな角度から熱心な議論をいただきました。

地区内全体で取り組む場合とは異なり、限られた範囲(グループ)であるが故に現場に則する、膝を交えた形で和やかな雰囲気が取柄であろうかと思います。

テーマとしては、ロータリーとは何なのか、ロータリーの未来について、国際人道支援や新世代奉仕、青少年奉仕等主に内的視点で各々の捉え方、そして事例報告や意見発表が有意義に議論されました。

一方、外的視点、客観的視野でロータリーをみる、切り口を外部から観察してみるという試みがなされたテーマに二分されたように思いました。

今年度、私は地区信条として「ロータリーの絆をもとう～あくなき情熱と冷静で～」と掲げさせ

ていただきました。そして新世代、青少年に対するロータリーの活動の必要性を強調させていただきました。このことを踏まえてI.Mの内容を考慮いただきましたことに心より感謝を申し上げます。

現在青少年のひきこもり現象がクローズアップする中で、今回のI.Mではたくさんの中学生、高校生の参加をいただき、また、意見発表もいただき、逆に我々ロータリアンに感動を与えていただきましたことは大きな次なる歩みにつながったと確信いたしました。ガバナー補佐の皆様、各I.M実行委員長様に心より感謝と敬意を申し上げます。

ロータリーが地域社会の中で継続していかなければならないこと、変化・変革が必要とされることを充分に把握しておかねばならないと思います。

激動する世界の中で、日本は戦前、戦後の歴史の中で検証しておかねばならないことが山積みであろうと思います。今「情報隠蔽の山積み」「失敗の研究が皆無」「使命と責任の欠如」など、繰り返す歴史的史実をもう一度再考を促し、次代へむけて反省が必要かと思います。ロータリーにおいても奉仕の理想を追求して行動として展開していかなければならないと痛感する次第であります。

今回のI.Mが現在の社会現象を分析し、地域社会のニーズを掘り起こし、有意義で新しい変化が生れますことを心より期待申し上げます。



元国際ロータリー理事・バストガバナー 南園 義一

革新的なクラブ活動を展開しよう！

今度は、東北関東大震災や福島原発の損壊等で東日本は壊滅的な影響を受けました。今こそ、“相手の身になって、助け合う”ロータリーの精神が最も問われている時であろうと思われます。

ロータリーは、1905年創始以来、106年の活動の歴史を有しています。その間、培ってきた奉仕の理想と活動の実績は余人に代え難い素晴らしいものがあります。しかし、現実の社会は激変して来ています。生産、輸送、販売という社会形態の時代から、現代はグローバルな情報化の時代になっています。

ロータリーの本質を大切にしよう！

この様な時代には、活動の基盤となるクラブの活動を機能的にして行くことが、私たちに課せられた重要な課題だと思います。思い切った発想のもとに、クラブは柔軟で革新的な活動を展開しなければ奉仕の成果を挙げることが出来ません。しかし、106年の間に進展して来た{ロータリーの理念と本質}は変えてはならないものと考えます。

新しいR I 長期(戦略)計画の中の“超我の奉仕”と“中核となる価値観”こそ、ロータリーの理念の本質をなすものです。“超我の奉仕”と「親睦」、「奉仕」、「多様性」、「高潔性」、「リーダーシップ」という“中核となる価値観”を十分に理解して、さらに時代に適応したロータリーの活動を展開しなければなりません。

柔軟で革新的な活動を展開しよう！

2010年11月のR I 理事会決定事項の中に「プログラムからリソースへの転換」を承認するという事項がありますが、このことは極めて重要な意味を有しています。つまり、「ロータリー活動の基盤はクラブにあり、クラブは自主的に、しかも柔軟な発想で、活動の目標を決める」もので、単にR I のプログラムを受動的に選択するのではなく、自分たちで何をなすべきかを考え、夫々クラブに適応した活動を選択すべきです。その目標と考えられのが、新R I 長期計画の6つの実践的な重点項目です。即ち、「平和と紛争防止」、「疾病予防と治療」、「水と衛生」、「母子の健康」、「教育と識字率向上」、「地域社会の発展」等です。

革新的なクラブ活動とは、思い切った発想の転換から始まると思います。本来、ロータリーの奉仕活動は、綱領にもとづいた五大奉仕部門を連携して行われるべきものだと言われていますが、まず、クラブの特徴と活動理念をクラブの全員が理解し、確認した上で、長期的な視野のもとに具体的な実践目標を決めて、積極的に活動を展開すべきでしょう。

7月1日から新年度が始まりますが、皆さまには、「ロータリーの理想と本質」を十分に理解した上で、長期的な視野のもとで、時代の変化に適応できる、柔軟で革新的な活動をされます様、御期待申し上げます。



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ



会長エレクト研修セミナー& 地区委員会別引継会議の報告

2011-12年度 代表幹事 田村 邦夫

3月13日(日)、ホテルグランヴィア広島において、約180名の参加のもと、会長エレクト研修セミナー&地区委員会別引継会議が開催されました。例年開催しています地区チーム研修セミナーは、地区運営における重要性から、1月29日に次年度ガバナー補佐、次年度地区役員・委員約50名が出席して既に実施しております。

午前10時に前田ガバナーの点鐘によって研修が始まり、田村ガバナーエレクトは、カルヤン・パネルジー次期R I会長が掲げられたR Iテーマ“Reach Within to Embrace Humanity”「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」について解説され、強調事項の中での最優先項目：ポリオ撲滅と青少年にかかわる活動を示し、未来の夢計画の6つの重点分野を紹介されました。

続いて、地区信条として「ロータリーで楽しむこころを学ぶ」ことを強調し、地区運営方針として社会奉仕に重点をおき、地域社会での認知症に対する支援と、国際奉仕の重要性を訴えかけられました。

基調講演では、国立病院機構広島西医療センター

の片山禎夫先生から「社会の中で認知症の人と家族が豊かに暮らす方法」、続いて元R I理事南園バスターガバナーより「革新的なクラブ活動を展開しよう」のテーマで講演をいただき午前の部を終えました。

午後のテーマ別研修では、「会員増強」について松本(茂)P G、「米山記念奨学会」について仁田P G、「ロータリー財団」について川妻P G、「地区の長期計画」について西村P Gより夫々ご講演を頂きました。

続いて部門別研修で会長エレクト部門では、田村ガバナーエレクトより「クラブ会長の役割と責務」について説明があり、次年度ガバナー補佐をリーダーとしてグループ別セッションが実施されました。地区委員会別引継会議では、金子次年度地区研修リーダーより「地区委員の重要性」をテーマに講話をいただき、委員会別にミーティングが実施されました。

合同本会議第2部では、地区運営各担当責任者より地区組織、公式訪問、地区主要日程、地区協議会、地区予算、地区大会について発表があり、研修終了後は合同懇親会にて参加会員同士が親睦の輪を広げた有意義な一日となりました。



引継ぎ会議での
田村ガバナーエレクト





インターアクトクラブ 海外研修を終えて

インターアクト委員長 藤原博已

第28回インターアクトクラブ海外研修を、3月26日～28日の2泊3日の行程で、地区インターアクター33名と顧問教師3名、ロータリアン3名の総勢39名で行なってきました。

福岡空港で結団式後、空路ソウル(仁川:インチョン)空港に到着しました。歓迎式典が行なわれる富川(プチョン)にバス移動し、会場では多数のロータリアンやインターアクターの皆様のお迎えをいただきました。

式典会場に入るまで、不安と緊張の表情であった学生たちも、今年の1月の第2710地区での日韓親善のホームステイに来日していた学生を見つけると走り寄って再会を喜び、共に歓迎式を経て研修のスタートとなりました。

式典終了後、生徒は2～3名ずつそれぞれのホー

ムステイ先に向かい、それぞれの思い出を作り、インターアクト同士友情を深めると共に貴重な体験をしました。

最初の宿泊を終えた翌日の朝、学生同士は再会の約束をしてバスでの韓国視察に向かいました。烏頭山統一展望台や広大な景福殿、国立民族博物館を見学し、韓国の歴史と伝統や文化を学びました。

2泊3日の今回の訪韓にあたり、心温まる歓迎をいただいた第3690地区のロータリアン、インターアクターの皆様、そして地区インターアクト前委員長の森田榮一様、次年度委員長予定者の金井哲明様には心から御礼を申し上げます。

今回の貴重な体験が、インターアクターの若い皆様にとって、これからの人生の一ページになると共に何かの形で生かされることをご期待申し上げ、報告いたします。



3690地区インターアクター歓迎式典



2710地区インターアクト地区代表者
末田 晃久君



歓迎式典、ホストファミリー対面式(富川にて)

烏頭山統一展望台より北朝鮮(対岸側)を望む



景福宮(ソウル市内)



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS/地域を育み、大陸をつなぐ

I.M インターシティミーティング 開催報告 グループ1



グループ1ガバナー補佐
木下 毅



グループ1のI.Mは、下関市、長門市7クラブ234名の登録をいただき、2011年2月20日(日)午後2時より下関のシーモールパレスにおいて開催いたしました。特に油谷湾クラブは全員出席していただき、ありがとうございました。

ご来賓としてガバナー前田茂様、ガバナーエレクト田村泰三様、パストガバナー林孝介様、永富稔様、ガバナー補佐エレクト胡博興様をお迎えしました。

テーマは「ロータリーを明るく元気に楽しく面白く」と致しました。

基調講演は、東大阪を、日本の中小企業を再発展させようと努力されている、「まいど!のおっちゃん」青木豊彦氏を講師にお迎えし、「涙と笑いのモノづくり人生」という演題で、感性豊かに話して頂きました。会員一同皆共感し、感動し、涙し、笑い、90分の講演時間を延長したにもかかわらずアッという間に終了しました。懇親会も新幹線の時間いっ



ぱい参加してくださり、各テーブルにもご挨拶にまわっていただき大変印象に残った講演でした。

2部の講師としてお招きしたのが下関RCの精鋭、日本銀行下関支店長の岩下直行氏で「少子高齢化社会における地域経済と新世代育成」という難しいテーマを大変解かり易く楽しく会場を巻き込みながら地域社会のあり方、生き残り方、考え方を示唆していただき、これもまた会員に色々な課題を投げかけていただいた講演で勉強になりました。

3部の懇親会はアトラクションはせず、主管クラブ下関クラブ会長松村久君の挨拶とガバナーエレクト田村泰三様の乾杯のみとし、親睦と友情を深めるだけとしたこともよかったように思われます。

有意義なI.Mを行うことができました事、ご来賓・グループ1のロータリアンの皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

最後にガバナー補佐幹事宮崎隆君の国歌独唱はいかがなものだったでしょうか?



I.M インターシティミーティング 開催報告

グループ2



グループ2ガバナー補佐
兼 広三郎

2月6日(日)にグループ2のI.Mを宇部西R Cの主
管のもとでホテル河長にて開催いたしました。参
加者は約180名で、登録料は6千円で行いました。

当日は地区より前田ガバナー、田村ガバナーエ
レクトにご出席いただきました。基調講演の講師
を南園義一パストガバナーにお願いし、「ロータリー
を理解し、未来への夢を持とう」というテーマで
約1時間30分お話していただきました。100年を超
えるロータリーの歴史を紐解かれ、時代が流れて
も変えてはならないロータリーの本質、又活動の
形態や方法については時代のニーズに適応させ、
より効果的な活動を実践すべきであることも語ら
れました。

講演の内容は「ロータリーの理念と理想」、「国
際ロータリーの長期計画と財団の未来の夢計画」、
そして「クラブの活性化」の3つのパートに分けて



説明されました。プロジェクターを使われ大変解
り易く説明され、ロータリーに関しての知識や理
解が充分でない多くの会員にとって参考になる有
意義な内容の講演でした。

その後休憩を取り、グループ内各クラブより代
表者が1名登壇していただき、R L I方式でのディ
スカッションを行いました。ディスカッションリー
ダーは東実行委員長と兼広が務めました。6項目の
先だし質問をしていましたので、登壇者の皆様そ
れぞれ自分の考えをまとめられていて、大変活発
なディスカッションとなりました。途中話が白熱
して南園講師にコメントを求めるようなこともあり
会場に笑いも出ました。限られた時間のため全
ての項目を取り上げることは出来ませんでしたが、
大変実りある有意義な内容であったと思います。

多くのことを研修した後は親睦の輪をさらに広
めるべく大懇親会が開催されました。参加いた
だいた皆様は楽しい話に花が咲き、くつろいだひと
時を過ごしていただいたと思います。開催に協力
いただきました会員諸兄に心より御礼申し上げます。





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

I.M インターシティミーティング 開催報告 グループ3



東日本大震災発生の翌日という大変な日にグループ3のI.Mを開催いたしました。まずは被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

グループ3のI.Mは3月12日(土)午後1時より、防府市のルルサス多目的ホールにてグループ3の7クラブ251名の全員登録のご協力のもと、ご来賓としてガバナー前田茂様、R I 長期計画委員会委員南園義一様、パストガバナー新田薫様、次年度ガバナー補佐貞國耀様、地区副代表幹事小田聡之様をお迎えし、あわせてグループ3のインターアクトクラブ校の野田学園高等学校、防府商業高等学校、高川学園高等学校、誠英高等学校の顧問教師、生徒さんにもご参加をいただき開催いたしました。

今回のI.Mは五大奉仕に新世代奉仕が入りましたので、第1回のI.M実行委員会でテーマを「若者と語ろう」として準備をしてまいりましたが、開会行事のあとR I 長期計画委員会委員の南園義一様に今回のテーマに沿って「若い世代へのロータリーの期待」という基調講演で、青少年のみならずロータリアンへも今後の方向と期待をわかりやすく話していただきました。

基調講演のあと、ステージ上で4校のインターアクトクラブの生徒さんに活動状況を報告してもらい、その後顧問教師も交えてホストクラブの防府南RC会長の吉野紀生がコーディネーターをつとめ、生徒さんとロータリアンとのディスカッションを行いました。前田茂様、南園義一様にもご参加い



グループ3ガバナー補佐
門田 春 善

ただき、あっという間に予定時間終了となる熱のこもったディスカッションフォーラムとなりテーマの「若者と語ろう」を満喫いたしました。

懇親会は場所を変え、防府駅前松月にて誠英高等学校バトン部の若々しい演技で開会し、その後グループ内の会員相互の親睦をいたしました。

最後になりますが、今回のI.Mは大震災直後の開催でご来賓をはじめご参加の皆様にはご心痛があったでしょうが、努めて明るく振舞っていただく等心遣いいただき、ホストクラブを代表して感謝を申し上げます。



I.M インターシティミーティング 開催報告

グループ4



グループ4ガバナー補佐
小野 眞嗣



2011年2月5日に2710地区G4地区のI.Mを、地区内5クラブ210名が参加し開催しました。来賓に前田茂ガバナー、田村泰三ガバナーエレクト、また米山奨学生の劉龍君、当地区次年度ガバナー補佐を務められます徳山東クラブの土井邦彦氏をお迎えし点鐘で始まりました。

開会セレモニーに入り、開会及び歓迎の挨拶、参加クラブの紹介を行い、金子ガバナーの挨拶をいただきました。基調講演はNGO日本国際ボランティアセンター、パレスチナ事業担当であります藤屋リカ氏に「国際人道支援の現場から。人々が求めているのは人間としての尊厳」というテーマで、現実に当地で活動された貴重な体験や想いを話され、「武器では平和は来ない。ただ憎しみが増すだけだ」という言葉や、その中で生活している人達に対する優しい気持ちに感銘を受け、90分の時間が非常に早く感じられました。

短い休憩後本会議に入り、本年度のテーマの一つである「新世代奉仕について」各クラブの事業活動報告がありました。徳山クラブからは新世代

奉仕委員長の松村佳成君が「青少年指導者要請プログラム(RYLA)」の報告、徳山東クラブからは新世代奉仕委員長の伊賀浩一郎君の「ロータリーカップサッカー大会」「A Warm Hug Meeting」の報告、周南西クラブは新世代奉仕委員長の蔵清正一君の「日本丸・海王丸同時寄港記念事業、記念例会」「新世代のための月間でのローターアクトの例会の卓話」など多くの事例の報告、光クラブの会長の兼子義行君の「中学生職場体験事業」「今年度山口国体の開催の応援として青少年健全育成スポーツ振興」など多くの報告、徳山セントラルクラブは会長の高田慎二君の「ロータリーカップ小学生ソフトテニス大会」の報告など各クラブの真摯に取り組まれている事業活動の報告がありました。続いて閉会セレモニーに入り点鐘後本会議は終了しました。

引き続き田村ガバナーノミニニーのご挨拶をいただき乾杯の音頭で懇親会に入り、生バンドの演奏を聴きながら親睦を図り、楽しい時間を過ごして散会となりました。





I.M インターシティミーティング 開催報告 グループ5



グループ5ガバナー補佐
藤中 秀幸

I.Mを終えて

グループ5は、3月19日岩国国際観光ホテルにおいて「地域力の向上を目指して～町づくりとロータリアン」をテーマにI.Mを開催しました

この開催を前に、各クラブに3月11日発生した東日本大震災の被災者に対する毛布等の支援を呼びかけたところ、会員の皆様から多大なる協力をいただき、これらの支援物資が海上自衛隊岩国基地から被災地へ早急に輸送されたことを最初に報告致します。

さて、今回のI.Mは「ロータリアンは地域のオピニオンリーダーたるべし」との基本的観点から、事前にアンケート調査を実施しました。このアンケートは、①貴方は現在地域の発展に積極的に貢献していますか？②貴方は岩国空港再開をどのように活かしますか？を主に問うたもので、その結果を参考にパネルディスカッションを企画しました。

I.M開催に当っては、まず国土交通省大阪航空局空港企画調整課の課長鈴木賢治氏に「岩国空港再開に向けて、中央から見た地域空港の位置づけ」と題した基調講演をしていただきました。講演は、空港再開がいかに地域社会の発展に有用であるかというもので、私達を勇気づけ、未来への可能性を確信させてくれるものでした。

次に行ったパネルディスカッションは、岩国市長福田良彦氏、柳井市長井原健太郎氏をゲストに迎え、岩国短期大学教授山縣良人氏をコーディネーターとして各クラブより選出された5名のパネラーにより行いました。

テーマは大きく①岩国空港を核にし、柳井・岩国地域はどのように生き残るのか？②地方分権化が進む中、地域の発言力を確保するために次世代のリーダーをどのように育成するのか？の2つで、いずれも真剣かつ熱心な議論が行われ、会場の方々の元気起こしに極めて有意義なものになったと思います。

その後の懇親会では江戸屋小猫さんの伝統芸に心をいやされ、親睦の大きな和を揚げ閉会しました。

なお、東日本大震災の被災者に対する義援金にも協力していただき、15万円余りのお心遣いをいただきました。会員の皆様の「ロータリーの心」に深く感謝し、I.Mの報告と致します。



I.M インターシティミーティング 開催報告

グループ7

グループ6

グループ7ガバナー補佐
安部 憲明



グループ6ガバナー補佐
佐藤 恭子



国際ロータリー第2710地区グループ6・7合同インターシティミーティングを2月26日(土)13:30からリーガロイヤルホテル広島に於いて開催いたしました。

前田茂ガバナーはじめ、パストガバナーの筒井様、仁田様、川妻様、岩森様、諏訪様、小田地区副代表幹事、斉藤、久笠次年度グループ6・7ガバナー補佐、そして多数の会員の皆様にご出席いただき盛会裡に終えることができました。

テーマは「生きる力!」としました。前田ガバナーには、ご来賓挨拶と、プログラムに27才の高杉晋作の辞世の句「面白くなき世を面白く」についての記述をいただきました。

記念講演では、精神科医で立教大学教授の香山リカ先生が「生きる力をつける処方箋」と題して、就職戦線と面接人事、経営者、親子関係、現代若者気質など身近な問題を分かりやすくお話してくださいました。



香山リカ教授

フォーラム「RLIを体験して」では、グループ6から堤田英治会員、森川和彦会員、グループ7から、竹内徳将会員、井原俊彦会員そして岩森地区研修リーダーに御登壇いただき、佐藤ガバナー補佐が司会進行をつとめました。登壇者の発言が

大変面白く、過激発言や会場からの発言もありで、笑い声の響く「居眠りしなかったフォーラム」として思いがけず大好評でした。

懇親会では「新世代」を念頭におき、「平和の使節団」として世界各国で演奏交流をしている広島ジュニアマリンバ・アンサンブルに演奏いただきました。寸分乱れぬリズム、メロディ、ハーモニーで、皆感嘆♪♪ 続いて、広島安佐RC長井敏弘会員によるジャズピアノの弾き語り♪#〜手に手つないで〜#は、米山奨学生のパメラ・アンラカンさんのチェロ伴奏で楽しく終わりました♪

I.Mの目的である「ロータリー情報と親睦」が少しは果たせたかと思えます。

ご参加、ご協力くださった皆様のお蔭と感謝いたします。





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS/地域を育み、大陸をつなぐ

I.M インターシティミーティング 開催報告

グループ8

余寒なお去りやらぬ早春、2月27日、日曜日、当地区第8グループのI.Mをグランラセーレ東広島に於いて、西条RCをホストクラブ、東広島RCをコ・ホストクラブとして開催しました。

ご来賓として、前田茂ガバナー、真鍋欣良・土肥浩右両パストガバナー、田村泰三ガバナーエレクト、大之木精二ガバナーノミニ、林潤彦ガバナー補佐エレクト、山内吉治RC東広島こころ塾長をお迎えし、グループ内メンバー175名のご参加を得ての大変熱い6時間となりました。

1905年の創立から数々の変革と変遷を経て、今や、その第2世紀の大道を行くロータリーですが、ここに来て、その運営面に於いて、又、その精神性に於いても大きな曲がり角に差し掛かって来たのではと強く感じているロータリアンは少なくありません。

そうした現況を踏まえ、今I.Mのテーマを「あなたにとってロータリーとは」ー語ろうあなたの想いをーとし、三つのパートによって構成しました。その一つ、基調講演については、(株)PHP総合研究所前社長江口克彦氏をお招きし、「松下幸之助、その人間観とロータリー観」と題し、生涯スツの襟に松下電器の社章とロータリーのバッジをいつも必ず付け続けていた松下幸之助翁の哲学をお



グループ8ガバナー補佐
竹内 紀夫

話し頂きました。

続いてのパネルディスカッションでは、グループ内7クラブからそれぞれエース級の方々にパネラーとしてご登場頂き、井上圭太郎コーディネーターのリードの下、現下のロータリーへの想いを語って頂きました。

そして今I.Mの仕上げ、懇親会は、コ・ホストクラブメンバーの心尽くしと梶原賢典懇親部会長の勝れた指導力とで、参加メンバー全員が一つの輪となる楽しく賑やかなひと時となりました。

春浅きこの日一日を、所期の目的に沿うものとして頂きましたこと、グループ内メンバー全ての方々と関係各位に深く感謝を致したく存じます。まことに有難うございました。



I.M

インターシティミーティング

開催報告

グループ9



2月19日、尾道国際ホテルに於いて、257名の登録にてI.Mを開催致しました。I.Mは近隣ロータリアンが全員で相集い、親睦と友情を深め、かつ情報交換の場です。皆様にI.Mの主旨をご理解頂き、全員登録をお願いし盛大に開催出来ました。

今回のI.Mのテーマは『ロータリーは町づくりの応援団になりうるか』のもと、講演型から対話型のI.Mへと企画しました。G9内の平谷祐宏尾道市長・五藤康之三原市長・小坂政司竹原市長様をパネラーとしてお迎えし、前田茂ガバナー、村上ガバナー補佐と会場のロータリー会員と2時間に及ぶR L I方式によるパネルディスカッションを行いました。先ず、各クラブの奉仕活動を紹介し、どれだけ市長に理解を戴いているか、また一方でロータリーの運動が自己満足に陥っていないかを問いましたが、驚くほどご存じだったのと、評価が高かったのでホッといたしました。

又、行政がロータリーに期待する事をお尋ねしたところ、今まで以上にロータリアンとしての自覚を持ち、行政に一層関心を寄せることが効率よい地域ニーズに合った奉仕することになると言う結論になりました。

前田ガバナーにはロータリーのさまざまな奉仕の説明とご指導を頂きました。

手塚I.M実行委員長にコーディネーターをお願いしましたが、私の期待以上の有意義なI.Mへと導いてくださったと思っています。

本年、前田ガバナーはテーマに『ロータリーの絆をもとう』と呼び掛けられました。

パネルディスカッションにより、ロータリアン

グループ9ガバナー補佐
村上 清司



としてのモチベーションを高める事によって『ロータリーの絆』が培われる事に期待し、ロータリーの値打ち、評価が一層高くなり、チャレンジ精神への起爆剤になる、意義あるI.Mではなかったかと思えます。

式典の後、懇親会では、3市の市長さんを囲んでのコミュニケーションでは、テーブル毎に交流と友情を深め、情報交換が出来たと喜んでおります。

ホストクラブの尾道ロータリークラブの皆様には大変お世話になりました。又、お土産として、美術館の招待券並びに会員企業の製品の提供も頂き、さぞかし尾道のPRに貢献したことでしょう。あらためてロータリアンの皆様の友情で、盛大にI.Mを開催出来ましたことに有り難く厚く感謝を申し上げます。





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

I.M インターシティミーティング 開催報告 グループ11



グループ10ガバナー補佐
豊田 國弘

本年度のI.MはG10・11合同で、3月6日(日)に福山ニューキャッスルホテルで開催致しました。

当日は、羽田皓福山市長、前田茂ガバナー、R I 元理事・財務長松本卓臣P G、天野肇P G、松本茂太郎P G、田村泰三G E、角紘一G10次年度A G、佐藤忠彦G11次年度A Gのご来賓の方々に加え、348名の会員の皆様の参加登録を得て開催致しました。

本年度前田茂ガバナーは、重点事項として「地域の教育向上に力を注ぐ」ことを掲げられております。また、本年度レイ・クリンギンスミスR I 会長も、第5の奉仕として新世代奉仕(0歳～30歳)をとりあげて次なる世代に対し、ロータリーは力を注がなくてはならないことを強調されています。

そこで、本年度I.Mは、地域の青少年教育に的を絞ったプログラムと致しました。

本会議[パート1]は、福山市・府中市の中学校に通う4人が、「私の未来」のテーマで自分の将来の夢や学校生活で学んだ成果を発表しました。

医者、大学駅伝の選手、考古学者、ロボットを創ると、各自しっかりした目標を持ち、「一生懸命働く人が報われ、夢や希望を抱いて豊かな人生を



グループ11ガバナー補佐
杉原 康生

送ることが出来る社会になって欲しい」と生徒の皆さんは強く訴えられ、ロータリーメンバーの感動を得ました。



岡本和信校長

続く[パート2]では、尾道市立因島中学校の岡本和信校長の「地域が育む青少年の将来」のテーマで講演を頂きました。

先生の3中学校統合の経験とともに、広域ネットワークの中で多様な英知の交流が必要だと述べられました。五大奉仕になった新世代奉仕の方向を探る価値ある講演でした。本会議を通じ、新世代奉仕部門の今後の活動のエネルギーとして頂けたと確信致しております。

本会議後の懇親会では、オープニングとして地元松永で開発された「ゲタアップ」(下駄を履いたダンス)を703ハート&スマイルの皆さん達が元気に演じて頂きました。

続いて、G10・11合同ゴルフ大会の映像を元に「ゴルフの花道 in 福山」と題し、上野プロ・横山アナに会場を盛り上げて頂き、親睦を深めることが出来ました。

内海康仁G10実行委員長、神原一省G11実行委員長をはじめとするロータリアンの皆様の熱き支援と寛容の心で、盛大にI.Mを開催出来たことに、厚く感謝申し上げます。



I.M インターシティミーティング 開催報告

グループ12



グループ12ガバナー補佐
村竹 昇

「新世代とロータリーの絆をもとう」

本年度のG12のI.Mは、3月27日(日)13時よりグランラセーレ三次において、前田ガバナー、中川次年度ガバナー補佐を来賓としてお迎えし、G12各クラブより130余名のロータリアンの参加をいただき開催しました。

前田ガバナーの本年度のテーマは「ロータリーの絆をもとう」、地区運営方針では青少年奉仕に重点を置いて各クラブの活性化に取り組んでくださいとの事でしたので、I.Mのテーマを「新世代とロータリーの絆をもとう」としました。

基調講演では、東京から牧師のアーサー・ホーランド氏を招き、「あなたは愛されている」というタイトルで講演をいただきました。ホーランド氏



は「不良牧師 アーサー・ホーランドという生き方」など多数の著書もあり、あつという間の50分で、参加者から大変におもしろい講演であったと高い評価をいただきました。

事業活動発表会では、G12ガバナー補佐幹事酒井会員の進行により各クラブから次の内容の発表がありました。

- ◎RYLAプログラムの実践例(三次RC)
- ◎夜間歩行について(東城RC)
- ◎ホテルの里づくりの会(吉舎RC)
- ◎新世代奉仕委員会活動の現況(庄原RC)
- ◎「エコちゃん日記」体験発表(三次中央RC)

時間が足りないくらい、各クラブから熱心に事例発表が行なわれました

今後、地域において新世代の皆さんにロータリー活動を理解してもらい、広報の一環になればと思います。

最後に、懇親会では、G12の親睦の輪を広げていただけたものと思います。改めてG12の会員の皆様に感謝とお礼を申し上げます。





GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー第2710地区 2010-11年度/74RCの会員増減・出席率

クラブ名	出席率(%)		当 月 例会数	会員数(人)								
	当 月	平 均		年度初 (7/1)	前月末	当 月				本年度		
						入会者	退会者	末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1 7クラブ												
長 門	60.00	84.15	4	34	32	0	0	32	5	0	2	▲ 2
下 関	83.33	88.46	3	49	48	1	1	48	1	3	4	▲ 1
下 関 中央	80.83	84.50	4	30	30	0	0	30	5	1	1	0
下 関 東	86.48	82.37	5	52	50	0	1	49	0	3	6	▲ 3
下 関 北	89.29	83.77	5	42	43	0	0	43	0	4	3	1
下 関 西	89.67	93.96	5	30	34	2	0	36	1	6	0	6
油 谷 湾	100.00	99.79	5	13	14	0	0	14	0	1	0	1
計	87.27	88.14		250	251	3	2	252	12	18	16	2
グループ2 7クラブ												
萩	88.62	92.52	4	57	56	0	0	56	0	1	2	▲ 1
萩 東	97.91	96.17	4	24	24	0	0	24	0	0	0	0
美 祢	79.45	76.71	4	27	28	0	0	28	0	2	1	1
小 野 田	86.67	84.96	5	49	48	1	1	48	0	3	4	▲ 1
宇 部	78.83	87.54	4	52	54	0	0	54	2	3	1	2
宇 部 東	63.81	70.71	5	20	21	0	0	21	4	2	1	1
宇 部 西	89.00	87.59	4	51	54	0	0	54	1	3	0	3
計	83.47	85.17		280	285	1	1	285	7	14	9	5
グループ3 7クラブ												
防 府	85.48	89.42	4	61	63	0	0	63	0	4	2	2
防 府 北	93.65	93.20	3	20	21	0	0	21	2	3	2	1
防 府 南	89.68	85.92	5	30	31	0	0	31	5	3	2	1
山 口	97.36	94.63	5	51	57	1	3	55	3	8	4	4
山口中央	83.00	85.78	3	7	7	0	0	7	2	1	1	0
山口県央	98.86	97.73	5	35	35	0	1	34	1	2	3	▲ 1
山 口 南	85.81	81.33	4	38	37	0	0	37	3	2	3	▲ 1
計	90.55	89.72		242	251	1	4	248	16	23	17	6
グループ4 5クラブ												
光	94.56	93.63	3	50	50	0	1	49	0	1	2	▲ 1
周 南 西	100.00	100.00	4	40	42	0	0	42	2	3	1	2
徳 山	97.76	97.02	4	41	44	2	2	44	1	10	7	3
徳山セントラル	87.36	91.09	3	28	29	0	0	29	1	2	1	1
徳 山 東	98.33	98.30	5	50	48	0	0	48	0	0	2	▲ 2
計	95.60	96.01		209	213	2	3	212	4	16	13	3
グループ5 5クラブ												
岩 国	76.29	81.61	4	59	64	0	1	63	0	6	2	4
岩国中央	90.23	88.21	5	43	44	0	0	44	3	2	1	1
岩 国 西	89.89	86.70	4	63	65	0	1	64	2	3	2	1
柳 井	100.00	100.00	5	28	30	1	0	31	2	4	1	3
柳 井 西	98.64	96.91	5	28	29	1	1	29	2	2	1	1
計	91.01	90.69		221	232	2	3	231	9	17	7	10
山口県計	89.58	89.95		1,202	1,232	9	13	1,228	48	88	62	26
グループ6 7クラブ												
広 島	97.79	98.14	4	121	127	0	1	126	1	10	5	5
広島安芸	99.36	98.91	4	38	39	0	0	39	2	1	0	1
広島安佐	86.37	88.95	4	22	22	0	1	21	1	1	2	▲ 1
広 島 東	96.04	96.66	5	93	94	1	4	91	4	7	9	▲ 2
広 島 北	100.00	100.00	4	78	78	0	1	77	0	3	4	▲ 1
広島陵北	98.78	96.86	4	41	41	0	0	41	0	2	2	0
大 竹	79.29	81.63	4	33	35	0	1	34	0	3	2	1
計	93.95	94.45		426	436	1	8	429	8	27	24	3



2011年 3月度

クラブ名	出席率(%)		当 月 例会数	会員数(人)								
	当 月	平 均		年度初 (7/1)	前月末	当 月				本年度		
						入会者	退会者	末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7 7クラブ												
広島中央	100.00	100.00	3	57	59	0	0	59	4	4	2	2
広島廿日市	90.20	90.73	3	35	34	0	1	33	1	2	4	▲2
広島城南	96.74	96.86	4	41	45	1	0	46	1	5	0	5
広島南	97.60	97.32	4	84	90	0	1	89	0	9	4	5
広島東南	100.00	99.87	3	85	90	0	1	89	8	6	2	4
広島西南	100.00	99.68	4	63	63	0	1	62	3	2	3	▲1
広島西	100.00	99.84	4	85	83	0	1	82	0	1	4	▲3
計	97.79	97.76		450	464	1	5	460	17	29	19	10
グループ8 7クラブ												
江田島	88.38	87.25	5	19	19	0	0	19	0	1	1	0
東広島	100.00	98.82	5	31	31	0	0	31	2	1	1	0
東広島21	86.67	93.53	3	17	20	0	0	20	5	3	0	3
呉	93.29	93.29	4	69	68	1	0	69	0	4	4	0
呉東	95.91	90.40	5	32	31	0	0	31	0	1	2	▲1
呉南	91.75	90.03	4	46	48	0	0	48	3	2	0	2
西条	99.52	99.16	4	52	52	0	3	49	3	2	5	▲3
計	93.65	93.21		266	269	1	3	267	13	14	13	1
グループ9 7クラブ												
広島空港	79.81	80.62	4	26	26	0	2	24	2	1	3	▲2
因島	82.76	89.08	4	28	29	0	1	28	2	2	2	0
三原	88.24	88.49	5	68	69	0	0	69	2	4	3	1
尾道	86.36	86.81	4	72	72	0	2	70	1	4	6	▲2
尾道東	88.44	88.47	5	55	56	0	0	56	1	2	1	1
瀬戸田	90.90	86.62	5	15	11	0	0	11	0	0	4	▲4
竹原	92.56	91.31	4	37	38	0	0	38	4	2	1	1
計	87.01	87.34		301	301	0	5	296	12	15	20	▲5
グループ10 5クラブ												
府中	87.87	89.55	3	37	36	0	1	35	0	0	2	▲2
福山	96.82	94.93	3	83	81	0	0	81	0	2	4	▲2
福山東	87.91	86.93	5	52	54	0	0	54	0	3	1	2
福山丸之内	97.22	95.61	3	36	36	0	0	36	1	0	0	0
鞆の浦	81.20	85.59	5	34	33	0	0	33	0	1	2	▲1
計	90.20	90.52		242	240	0	1	239	1	6	9	▲3
グループ11 5クラブ												
福山赤坂	86.00	83.94	4	39	44	0	0	44	4	5	0	5
福山北	100.00	98.57	4	44	47	0	0	47	0	3	0	3
福山南	82.34	83.88	5	61	61	0	2	59	1	3	5	▲2
福山西	90.70	88.93	5	42	43	0	1	42	2	1	1	0
松永	91.27	89.67	3	43	42	0	0	42	0	1	2	▲1
計	90.06	89.00		229	237	0	3	234	7	13	8	5
グループ12 5クラブ												
吉舎	98.94	96.94	5	21	20	0	0	20	0	0	1	▲1
三次	83.18	83.65	5	43	45	0	0	45	0	2	0	2
三次中央	97.06	95.67	2	48	51	0	0	51	8	3	0	3
庄原	87.36	90.12	5	37	38	0	0	38	4	2	1	1
東城	71.81	82.22	5	19	22	0	2	20	1	3	2	1
計	87.67	89.72		168	176	0	2	174	13	10	4	6
広島県計	91.48	91.71		2,082	2,123	3	27	2,099	71	114	97	17
2710地区計	90.53	90.83		3,284	3,355	12	40	3,327	119	202	159	43



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2010-2011

BUILDING COMMUNITIES-BRIDGING CONTINENTS / 地域を育み、大陸をつなぐ



G11 第2710地区グループ紹介

G11ガバナー補佐 杉原康生 (福山赤坂RC)

第2710地区グループ11は、福山市内に3クラブ芦田川より西に2クラブの5クラブで構成されています。創立順に紹介いたします。

福山南RCは48年目で、グループ10に所属するの浦RCと福山東RCのスポンサークラブで、ガバナーも輩出されている歴史あるクラブで、ロータリーアクトクラブも設立されロータリー100年特別事業としてYAC(日本宇宙少年団福山南ローズスター分団)を結団され支援されています。高垣会長のテーマが「温故知新」でベテラン会員と若手会員がうまく交流された運営をされています。

松永RCは45周年目で、尾道市と隣接しており、スポンサークラブが尾道RCで福山赤坂RCのスポンサークラブであります。創立以来のクラブの伝統の「友愛と協調」を大切に守っておられ一致団結したムードがあります。ほとんどの会員が地域出身であり地域貢献事業として地元で開催される「ゲタリンピック」を支援協賛されています。また、7つの同好会があり会員同士のつながりを大

切にされています。

福山北ロータリークラブは40周年目で、インターアクトクラブを設立され、インターアクトクラブ・海洋少年団・学園児と協力し環境保全に取り組まれておられ、三吉会長のサブテーマが「寝た子を起こそう」でパスト会長を各委員会長に置きクラブの活性化に取り組まれておられます。姉妹クラブは2クラブあり韓国の南ソウルRCとは常に交流されています。

福山西RCは21年目のクラブで、青少年活動に力を入れられておられ継続事業として14年間広島県東部地区中学校吹奏楽祭を支援されています。三宅会長の「出会いを大切に、そして絆を深めよう」をテーマに会員誕生日のお祝いに統一したネクタイをプレゼントしクラブ内のコミュニケーションを取られています。

最後に私の所属する福山赤坂RCは今年15周年で、地域の青少年に重点を置きクラブの活性化を図りながら活動をしております。

以上でグループ11の紹介をさせて頂きました。

新会員紹介

(順不同)



越 磨 潔
下関RC
2011年3月28日
電気供給



木内 貴志
下関北RC
2011年2月15日
鋳造



米谷 敏昭
下関西RC
2011年3月23日
司法書士



平井 淳二
下関西RC
2011年3月23日
不動産業



吉武 要一
萩RC
2011年4月7日
司法書士業



栗屋 克昭
宇部西RC
2011年2月1日
和菓子製造



矢野 美喜
山口RC
2011年3月2日
電気事業



小川 健治
山口中央RC
2011年4月12日
生命保険



秋友 雅浩
光RC
2011年4月4日
貨物運輸



棚田 健司
徳山RC
2011年3月3日
電気事業



畑 健治
徳山RC
2011年3月3日
新聞発行



石田 晃司
徳山RC
2011年3月16日
老人福祉介護サービス



福山 正剛
広島城南RC
2011年3月4日
刑事弁護士



原田 知治
呉RC
2011年3月10日
旅行幹旋業



足立 輝昭
庄原RC
2011年2月1日
果樹栽培

謹んで
哀悼の意を
表します



小野田RC
故 中村 亜夫 殿
2011年3月7日ご逝去 (享年70歳)
【ロータリー歴】
1986~1987年度 クラブ幹事
1992~1993年度 クラブ会長
1999~2000年度 地区幹事
2008年4月 ボール・ハリス・フェロー



竹原RC
故 三好 秀樹 殿
2011年4月12日ご逝去 (享年66歳)
【ロータリー歴】
1993~94年度 幹事
1996~97年度 会長
職業分類/歯科医

職業分類/洋服販売業



文庫通信 (283号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の資料より

- ◎「ロータリーへの道〔三訂版〕」ポール・ハリス著・柴田實訳 成田 R C 2011 372p [申込先: 成田 R C FAX(0476)33-8786]
- ◎「ロータリーの日常の知識」三木 明訳 2010 83p (A Talking Knowledge of Rotary) [申込先: 三木 明 FAX(079)223-2477]
- ◎「決議23-34について」山 崎勝 2010 32p (D.2720ガバナー月信総意編) [申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- ◎「職業奉仕の目ざす所」勝野露観 2010 12p (職業奉仕その心と今日的役割/D.2640) [申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- ◎「ロータリアンの職業宣言について考えることー『職業奉仕の現代的意義』」北岡 満 2010 4p (職業奉仕その心と今日的役割/D.2640)
[申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- ◎「『四つのテスト』の解釈について」辻林俊彦 2010 2p (職業奉仕その心と今日的役割/D.2640) [申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]
- ◎「ロータリー入門書2010~2011年度版」前原勝樹・重田政信 2010 197p [申込先: 北斗事業出版 TEL(03)5207-6681]
- ◎「ロータリークラブ 簡単図解」鈴木章夫 D.2520 [2011] 12p [申込先: ロータリー文庫]
- ◎「カンボジア・ベトナム海外研修」柏木希予 2010 1p (D.2650インターアクト海外研修報告) [申込先: ロータリー文庫(コピー/PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース ★ハイライトよねやま133号★ 2011年4月12日発行
このたびの大震災で被害を受けられました皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

今月のトピックス

1. 寄付金速報 ― 予算達成に向けてご協力をお願いします ―
2. 震災から1カ月…東日本大震災関連の続報
3. 現地採用の第1号奨学生が博士号を取得して帰国
4. 奨学生のスピーチコンテスト ― 第2660地区 ―
5. NHKハングル講座に米山学友がレギュラー出演中!

【お知らせ】『ロータリーの友』5月号に姫軍さんのスピーチが掲載されます

▼ PDF版はこちらをご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight133_pdf.pdf

【表紙の写真】 帝釈峡「神龍湖の湖水開き」/庄原市東城町

今年の春時計が遅いおかげでしょうか、東城町の千鳥にある「別尺ヤマザクラ」と小奴可にある広島県天然記念物「要害桜」は五月連休中が満開のようで、これからが見頃です。
表紙写真は4月末の昭和の日に行なわれた「湖水開き」で竜神を模した遊覧船が優雅に湖水

を進む場面です。東城町の自然と生活環境は、雅な桜がもつ優しい姿と帝釈峡の雄大で尊厳ある自然美に象徴される所です。

風薫る五月は爽やかな行楽時期ですので、山間の中国道の旅を楽しんでみてはどうですか。

国際ロータリー第2710地区事務局

所在地 〒732-0822 広島市南区松原町1番5号 ホテルグランヴィア広島6F
TEL: 082-506-0055 FAX: 082-263-2323
E-mail: info@ri2710.com URL: <http://ri2710.com/>
月信編集委員 丸田 洋司、増田 茂典、坂部 由香子、吉崎 秀峰、中島 清祐、竹田 則之
事務局員 岡崎 由美、布施 美佐子

来月は
ロータリー
親睦活動月間
です

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 3690

韓国第3690地区大会

2011.4月14日15日・16日 <仁川、富川、ソウル>



姉妹提携継続
調印式



カメラレポート

4月15日(金)

本会議場の富川体育館の前で



2011/04/16



RI会長代理歓迎晩さん会

4月16日(土)



本大会会場で



調印式を終えました



前田ガバナー代理の
田村ガバナーエレクト
ハングル語での挨拶は大好評



前田ガバナーより三次人形を
記念品として贈呈



田村ガバナーエレクト



2011/04/16

本会議で紹介を受ける田村ガバナーエレクト



大之木ガバナーノミニー



中島国際奉仕委員長(右)



友情の時間



水原城を見学した地区メンバー



2011/04/15

- 4月14日(木) ■ 広島空港・福岡空港から仁川空港に集合 ■ サムソン美術館見学
- ガバナーを囲む夕食会ほか
- 4月15日(金) ■ RI 会長代理歓迎晩餐会に出席 ■ 3690地区との友情の時間ほか
- 4月16日(土) ■ RI 第3690地区大会参加 ■ 仁川市内観光ほか／仁川空港から帰途

「がんばれ!日本。」と記載された
義援金募金箱がロッテホテルに
ありました。感動です!